

ニーズウエル

売上・利益が2Qの過去最高更新
ITで物流ビジネスへの参画を進める

3992
(東1)

金融系のシステム開発に強みを持つニーズウエル（3992）が、5月12日に2021年9月期第2四半期決算を発表した。売上高は前年同期比0・3%増、営業利益は同14・8%増、経常利益は同12・7%増、四半期純利益は同14・7%増の2桁増益となった。第2四半期ベースではコロナ禍においても売上高、利益ともに最高額を更新した。利益面の進捗は、すでに通期予想の5割超をクリアしている。

同社は売上高の約7割超を占める業務系システム開発と、基盤構築、コネクティッド開発、ソリューション・商品等売上で事業を展開する。主力の業務系システム開発では、金融系システムが売上高の約50%を占

める。特に生命保険・損害保険分野に強みを持ち、銀行・クレジットカード・証券でも多数の実績を持つ。

また、エンドユーザーとの直接取引が全体の売上構成比の50%超、営業利益率が約10%と業界平均の2倍の水準となっている。第2四半期ではコロナにより製造向け案件の一部遅延が見られるものの、業務系システム開発で携帯電話の料金改定に伴うシステム開発など、通信業界向けの案件が引き続き好調に推移した。

物流分野では今夏のリリースを目指して倉庫管理システムのパッケージ開発を進めている。ネット社会によりニーズが高まる一方で、人材不足が深刻化する物流（倉庫業務）でのシステム開発需要が増加しており、

ニーズウエルの業績

■2021年9月期 第2四半期業績		前年同期比
売上高	28億1800万円	0.3%増
営業利益	3億600万円	14.8%増
経常利益	3億100万円	12.7%増
四半期純利益	2億600万円	14.7%増
■2021年9月期 業績予想		前期比
売上高	58億円	8.1%増
営業利益	5億3700万円	9.0%増
経常利益	5億3700万円	4.4%増
当期純利益	3億7000万円	6.5%増

無人搬送ロボットや倉庫制御システムを最適な形で連携する倉庫管理システムを提供していく。基盤構築と業務系システム開発、ソリューション・商品等売上では、各事業と連携したトータル受注で安定した開発を継続。テレワークなどを背景に経費管理・請求書管理クラウドシステムなどの販売が好調に推移した。

通期業績予想は売上高が同8・1%増、営業利益が同9・0%増、経常利益が同4・4%増、当期純利益が同6・5%増と増収増益を見通す。新規参入した物流ビジネスやソリューションの強化を図る。年間配当は前期より1円増配の17円を予定。中期経営計画では、2023年9月期に売上高100億円、経常利益10億円を目指す。AIやIoT、RPA分野への注力と、積極的なM&Aによる事業拡大を図る。